

外貿定期コンテナ航路の開設で 地域に密着した貨物輸送が可能になり物流コストが削減

く し ろ

file02

釧路港

対象施設 西港区多目的国際ターミナル 岸壁(-12m)
供用 平成14年

釧路港西港区第4ふ頭の整備により、平成14年8月に釧路港と韓国・釜山港を結ぶ外貿定期コンテナ航路が開設された。このコンテナ航路を利用して、チゲ鍋の材料として韓国で大好評の釧路産スケトウダラや、ほかに新聞紙などの輸出、牧草や肥料の輸入により地域の基幹産業に密着した貨物が輸送されている。牧草・肥料の輸入については、従来苫小牧港で荷揚げされた後に道東地方へ輸送されていたが、外貿定期コンテナ航路の開設により、輸送コストがコンテナ1個当たり2~3万円削減（陸送距離約300km分のコスト削減）された。



●釧路港の月別のコンテナ取扱量

